



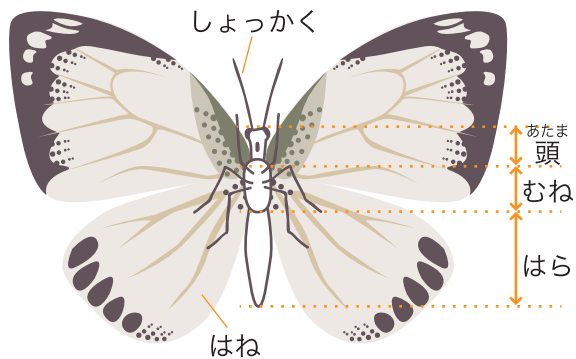
すたペンドリル 昆虫の体のつくりと成長 1

昆虫の体のつくり

昆虫の体のつくりには共通の持ちようがあります。
成虫の体は頭・むね・はらに分かれていて、あしが6本むねから生えています。

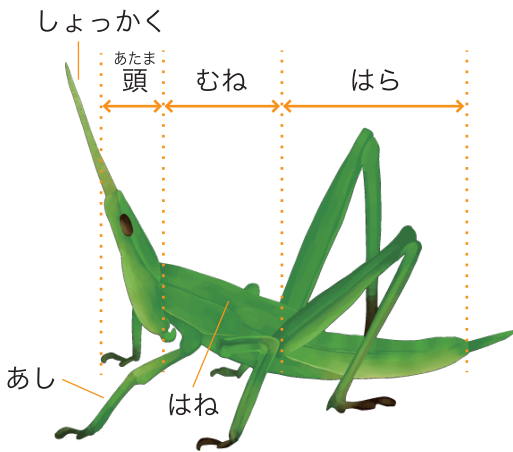
大事なポイント！
覚えておこう

チョウの体のつくり



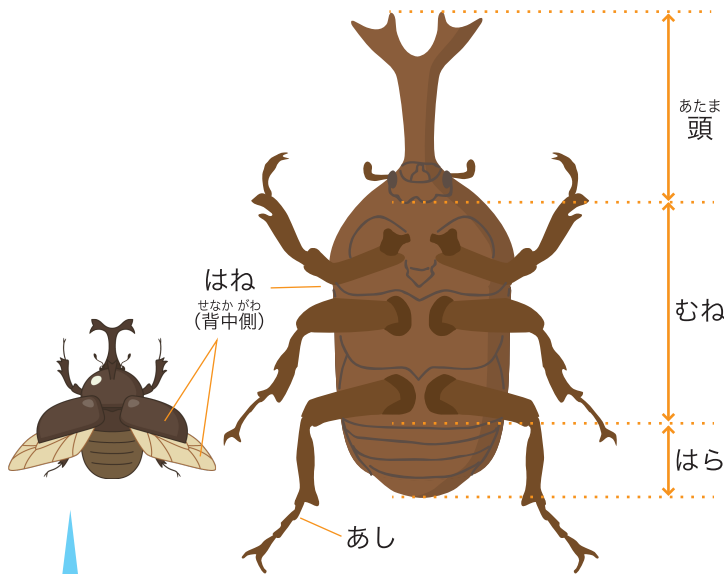
モンシロチョウの成虫

バッタの体のつくり



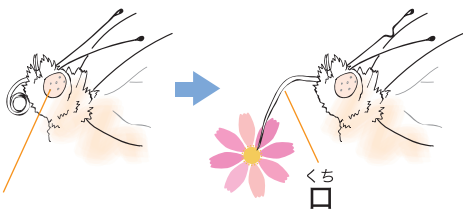
ショウリョウバッタの成虫

カブトムシの体のつくり



カブトムシの成虫

モンシロチョウの目と口



2つの目は複眼(小さな目がたくさん集まっている)で、周りの様子や動きをよく見られるようになっています。

普段は口をまるめていますが、みつを吸うときはストローのようにのびします。

しょっかく

しょっかくは、におい・空気(ふうき)のふるえなどをかんじ取るセンサーのはたらきをします。

昆虫のはね

昆虫の多くは、ぜんし・後しと呼ばれる2対4枚のはねを持ちます。そのはねで飛ぶだけではなく、コオロギのようにはねをこすり合わせて音を出したり、カブトムシのようにかたい殻(から)で身をまもったりする昆虫もいます。